

福井市PTA 研究大会 2021

～ 歩み出そう、新時代へ ～

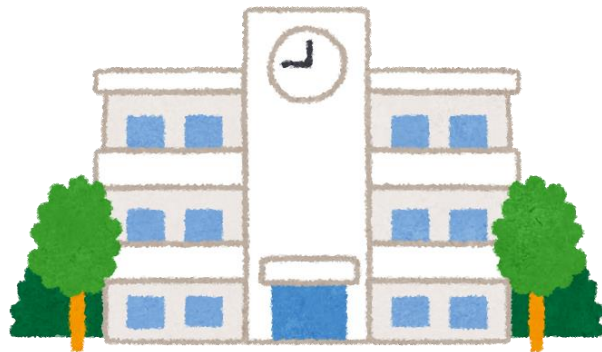
第2部 子供たちの環境変化を考える

- ① うちの地区の学校の未来は？ - 学校規模適正化を考える -
- ② 学校部活から地域クラブへ？ - 部活動を考える -



うちの地区の学校の未来は？

- 学校規模適正化を考える -



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

1. 福井市学校規模適正化検討委員会からの答申（令和2年5月）
「福井市小中学校の**学校規模及び配置の適正化**について」

適正規模の考え方は？

【小学校】

- ・ **各学年2～3学級**が標準規模
- ・ 学年ごとに**1学級を維持**できる事
小規模校 ⇒ 複式学級 大規模校 ⇒ 全児童数が千人を超える

【中学校】

- ・ **複数の学級編成**が望ましい
- ・ 1学年1学級であっても20人程度であれば許容範囲



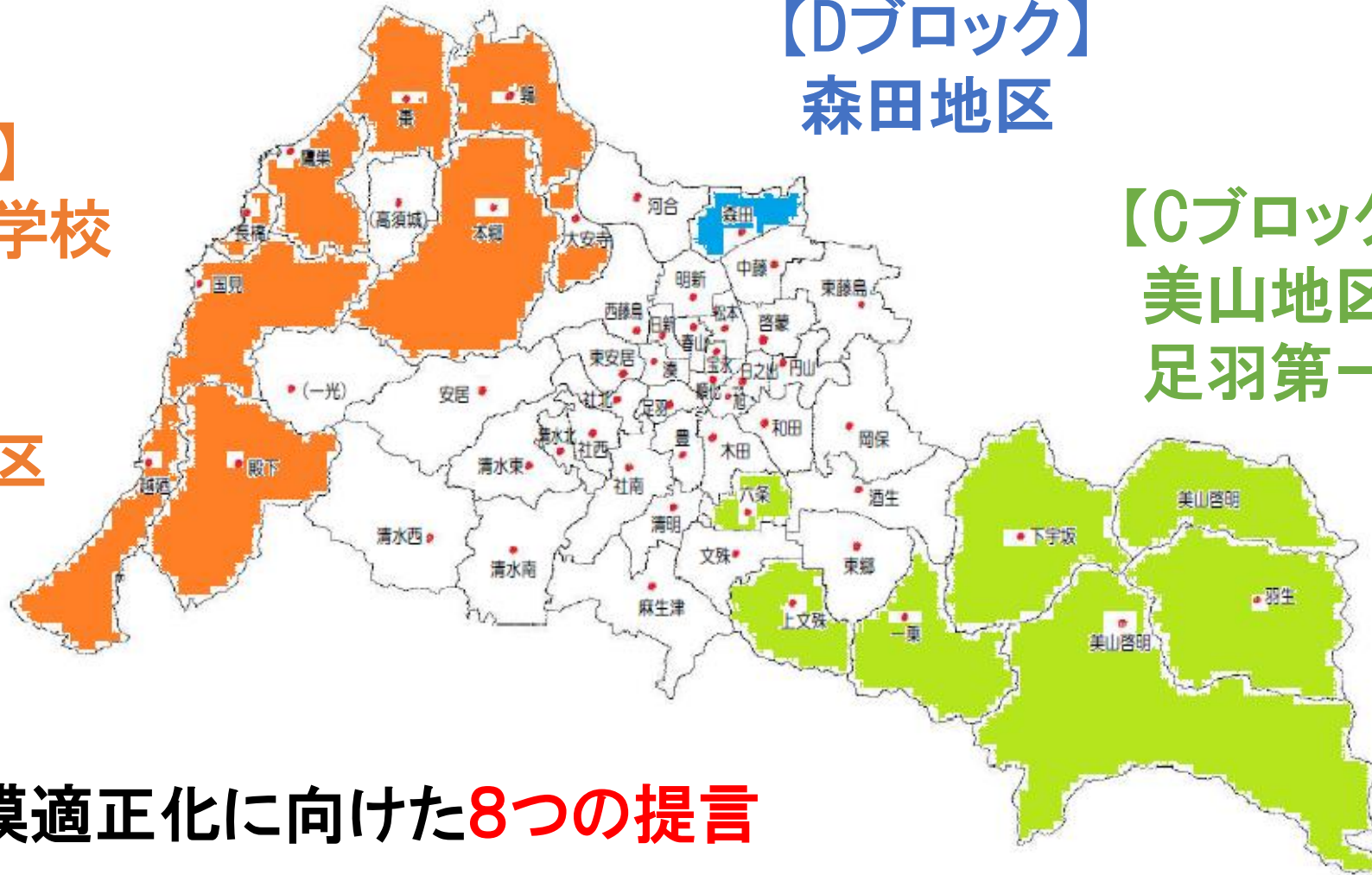
うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

福井市小学校の位置と校区

【Eブロック】
殿下小中学校
本郷地区
臨海地域
大安寺地区
棗地区

【Dブロック】
森田地区

【Cブロック】
美山地区
足羽第一中学校地区



学校規模適正化に向けた8つの提言

うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

2. 学校規模適正化に向けた8つの提言

【Cブロック】

- ・ 美山地区

羽生、美山啓明、下宇坂小学校を一つに統合再編
美山中学校との小中一貫校

- ・ 足羽第一中学校地区

一乗、六条、上文殊小学校の小規模化が進む予想
東郷、文殊小学校を拠点校とする2校化へ



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

2. 学校規模適正化に向けた8つの提言

【Dブロック】

- ・ **森田地区**

森田小学校の2校化へ

校区の見直し、通学時間や安全面を配慮する

【Eブロック】

- ・ **殿下小中学校**

特認校制度等を活用しても他地域から集めることは難しい

隣接校との統合



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

2. 学校規模適正化に向けた8つの提言

【Eブロック】

- **本郷地区**

川西中学校区としてのつながりを重視
鶉小学校への統合

- **臨海地域**

長橋、越廼、国見、鷹巣小学校を対象に2校化
国見、越廼、鷹巣中学校の再編



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

2. 学校規模適正化に向けた8つの提言

【Eブロック】

- ・ **大安寺地区**

藤島中学校や西藤島小学校とのつながりを重視する案
川西中学校や鶉小学校とのつながりを重視する案

- ・ **棗地区**

棗小学校は、複式学級になる段階で鶉小学校との統合
棗中学校は、川西中学校との統合



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

3. スケジュール(福井市教育員会事務局)

【第1ステージ】 地域との意見交換会（市主催）

- ・ 答申内容や対象校の立地状況などを説明
説明会・意見交換会を開催

C、E ブロック

【第2ステージ】 行政と住民との協働による地域の意見集約

- ・ 「現役、将来の子育て世代」と地域住民の参画
行政と共に議論、意見や考え方を集約

D ブロック

【第3ステージ】 地域(地区)学校規模適正化計画の策定

- ・ 合意形成が図られた地域から「学校規模適正化計画」を策定
予算化・事業を推進



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【森田地区】児童数 森田小1049人

令和2年10月23日開催 約70名(うち保護者は33名)

学びの環境確保、通学路の安全性確保などの点から候補地選定

※ 現在は、予算化・事業を推進中

- ・ 新設中学校は令和8年4月開校予定
⇒ 生徒数800人を想定
- ・ 小学校の2校化は令和9年4月予定 (現森田中学校を小学校へ転用)
⇒ 1校当たり800人規模で校区割



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【河合地区】児童数 河合小178人

令和2年11月20日開催 19名(うち保護者は13名)

森田地区の再編に伴い、河合地区より要望があり実施された通学する児童生徒、保護者からの目線で意見交換が行われた

- ・ 速やかな中学校の新設
- ・ 中学校の位置は森田・河合のバランスのとれた場所を希望
- ・ 兄弟姉妹で異なる中学校へ通学する際の配慮



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【殿下小中学校】児童数 殿下小11人、殿下中6人
令和2年11月27日開催 15名(うち保護者は7名)

- ・ 学校再編の決定期限の明示を要望
- ・ 通学する中学校を教育委員会が指定するか、通学区域を指定した上で、保護者の通勤に併せた通学を認める特例措置など
- ・ 校区外から通学している児童生徒への対応



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【臨海地域】 児童数 越廼小22人、越廼中13人
令和2年12月18日開催 41名(うち保護者は12名)

- ・ 子供をある程度の人数の環境で学ばせたい
- ・ 学校統廃合による教職員数の増減について
- ・ 学校統廃合後の地域の存続に係る配慮(過疎対策など)
- ・ 学校を存続した場合と他の学校へ統合した場合の相違点を提示
(例:越廼中学校の修学旅行先→海外、他の修学旅行先→県外 など)



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【臨海地域】 児童数 国見小34人、国見中20人
令和3年2月18日開催 20名(うち保護者は9名)

- ・ 子供をある程度の人数の環境で学ばせたい
- ・ 現状のまま少人数による子供の教育を望む
- ・ 学校を再編するに当たっては地域の在り方も含めての検討を望む
- ・ 地域活性化に積極的に取り組んでいる中、家族で移住した例もあり、地域から学校がなくなるのは寂しい
- ・ より広い範囲での学校再編(川西地区全体での中学校の再編)



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【臨海地域】 児童数 長橋小20人、鷹巣小52人、鷹巣中36人
令和3年7月30日開催 22名(うち保護者は8名)

- ・ 子育て世代や地区住民などいろいろな意見を聞きたい
- ・ 子どもの意見、子育て世代の思いを大切にしてほしい
- ・ 少人数であっても学校間の交流や学年間の交流で切磋琢磨できる
- ・ 同じ中学校に通うので、小学校が一緒になるのは良いと思う
- ・ 学校を統合するか否かの2択ではなく、別の視点の提案があるとよい
- ・ 小学校は地域の精神的よりどころである



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【本郷地区】児童数 本郷小43人

令和3年7月16日開催 14名(うち保護者は7名)

- ・ 川西地区全体を視野に入れた、より広い範囲での学校再編の検討
- ・ 学校を統合した場合の本郷小学校の活用について
- ・ 学校規模適正化に係る今後の計画について



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【大安寺地区】児童数 大安寺小58人、大安寺中32人
令和3年11月12日開催 20名(うち保護者は8名)

- ・ 現行のまま小中学校を存続
- ・ 小学校としての存続
- ・ 現在の校区の見直しを視野に入れた学校再編
- ・ 学校規模適正化に係る今後の計画について
- ・ 県内の学校統廃合後(小浜美郷小学校の例)の状況を知りたい



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【棗地区】児童数 棗小62人、棗中42人

令和3年11月19日開催 28名(うち保護者は14名)

- ・ 学校を統合した場合の棗小中学校の活用について
- ・ 避難所や社会体育施設としての役割のある体育館の存続
- ・ 少人数の良さを生かした学校の存続
- ・ 統合先の学校の長寿命化について
- ・ 学校がなくなることによる地域の衰退を懸念
- ・ 学校統合に伴う子どもへの対応について



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【美山地区】児童数 羽生小35人、美山啓明小42人、下宇坂小51人
令和3年3月19日開催 39名(うち保護者は9名)

- ・ 美山地区における小中一貫校設置の意義について
- ・ 既存の施設を改修するのか、新築するのか学校施設の在り方
- ・ スクールバスの運行を要望(遠距離通学者への補助)
- ・ 少ないなりの良さを生かした教育や、他地区同士の話し合いなど
- ・ 美山地区全体の子どもたちが集まり、人間関係が固定化される
- ・ 子供をある程度の人数の環境で学ばせたい



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【足羽第一中学校地区】児童数 一乗小29人
令和3年10月8日開催 29名(うち保護者は5名)

- ・ 地域をいかした教育がしっかり行われている
- ・ 学校がなくなることによる地域の衰退を懸念
- ・ 学校統廃合後の公民館や地区の存続について
- ・ これから子育てする若い世代の意見を尊重してほしい
- ・ 足羽一中との小中連携を見据えた**新しい学校の建設**



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【足羽第一中学校地区】児童数 上文殊小65人
令和3年10月22日開催 42名(うち保護者は14名)

- ・ 遠距離通学に伴うスクールバスの運行
- ・ 足羽第一中学校区全体を視野に入れた学校再編
- ・ ICTを活用した小規模校同士の交流
- ・ 学校がなくなることによる地域の衰退を懸念
- ・ 学校規模適正化に係る今後の計画について
- ・ 少人数の良さを生かした学校の存続



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

4. 各地区での状況(意見交換会)

【足羽第一中学校地区】児童数 六条小71人
令和3年11月5日開催 50名(うち保護者は19名)

- ・ 都市計画(市街化区域、市街化調整区域)の在り方も見据えた再編
- ・ 現在の校区の見直し(木田、清明)を視野に入れた学校再編
- ・ 小学校の存続
- ・ 足羽一中校区全体での小中一貫校化
- ・ 校区の広域化に伴う通学路の安全対策



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

5. 福井市PTA連合会の取組

2020年8月26日（特別委員会）

- **全PTA対象 全体勉強会**

答申説明、大野市事例、将来に向けた議論



2020年9月19日（Eブロック事業）

- **Eブロック 研修会**

答申説明、事例を紹介し情報共有を図る



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

5. 福井市PTA連合会の取組

2020年11月28日（Cブロック事業）

- ・ **Cブロック 勉強会**

答申説明、美山地区の統合事例の紹介
各校課題についてグループディスカッション



2021年1月30日（総務委員会）

- ・ **福井市PTA連合会研究大会**

C・D・Eブロックの進捗報告

⇒ YouTubeで配信中



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

5. 福井市PTA連合会の取組

2021年2月3日（総務委員会）

- **市長教育長と語る会**

まちづくりの方向性と学校規模適正化

⇒ 市P連HPに議事録を掲載



2021年3月15日（特別委員会）

- **本郷小学校 経験談インタビュー**

統合に携わった当事者へインタビュー

動画配信



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

5. 福井市PTA連合会の取組

2021年8月18日（特別委員会）

- ・ **美山地区 アンケート報告**

美山校区PTAで集めたアンケートを
学校教育課へ提出
説明と今後の対応について意見交換



2021年9月18日、11月27日（Eブロック事業）

- ・ **Eブロック研修会用動画撮影**

答申説明について動画配信、質問募集
質問への回答を動画配信中



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

6. 今後に向けた動き

【第1ステージ】 地域との意見交換会（市主催）

- ・ 答申内容や対象校の立地状況などを説明
説明会・意見交換会を開催 ⇒ 1巡目が完了



【第2ステージ】 行政と住民との協働による地域の意見集約

- ・ 「現役、将来の子育て世代」と地域住民の参画
行政と共に議論、意見や考え方を集約



【第3ステージ】 地域(地区)学校規模適正化計画の策定

- ・ 合意形成が図られた地域から「学校規模適正化計画」を策定
予算化・事業を推進



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

6. 今後に向けた動き

【美山地区】児童数 羽生35人、美山啓明42人、下宇坂51人
令和3年12月5日開催 保護者対象 9名

保護者を対象に、学校教育課主催で座談会を実施

- ・ 具体的な検討のため、まずは美山地区PTAアンケートに対しての回答がほしい
- ・ 小中一貫とした場合の各地区条件(通学時間やバス負担金など)を提示してほしい
- ・ 他校で統合した際のメリット・デメリット、対処法などの具体的な例を挙げてほしい
- ・ PTA役員や保護者も入れ替わるため、ゴール(期日)を決めて取り組んでほしい
- ・ 子供たちの意見を聞いてほしい(スクールカウンセラーなど1対1で聞けるよう配慮)



うちの地区の学校の未来は？ -学校規模適正化を考える-

7. まとめ

～子供たちの学ぶ環境を私たち自身が考え行動するために～

対象となっている地域では意見交換が行われ、これからは各地域からの声を具体的な形にしていく段階となります

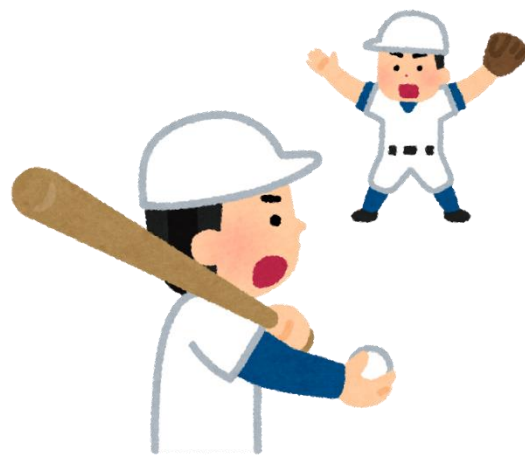
子供たちの思いを伝え、将来的にどのようにしていきたいか…
次の世代の保護者も加えた話し合いを進めるようお願い致します

現在対象外の地域についても、変化に対してどのように対応すべきか
今後話し合う場をもっていただけると幸いです



学校部活から地域クラブへ？

- 部活動を考える -



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

1. 部活動の現状

【**運動部活動の在り方**に関するガイドライン】 スポーツ庁 平成30年3月

- ・ 学期中は、週当たり2日以上¹の休養日を設ける
- ・ 長期休業中は、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける
- ・ 1日の活動時間は、平日では2時間程度、休業日3時間程度
- ・ 週末等²に開催される様々な大会・試合が負担とならないよう参加する大会数の上限目安等を定める

※「**文化部活動の在り方**に関するガイドライン」 文化庁 平成30年12月

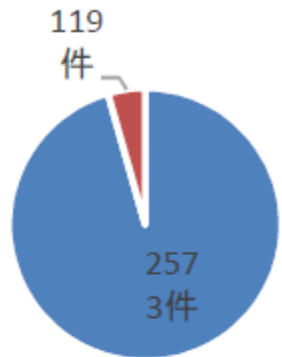
- ・ 文化部についても運動部同様の規定



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

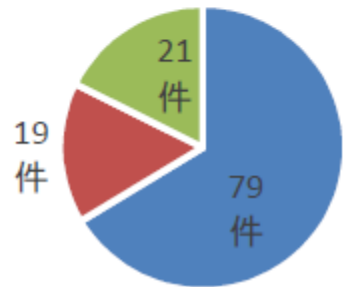
【福井市PTA部活動アンケート結果】

質問① 中学校の部活動に在籍していますか



はい	2573件
いいえ	119件

質問② 中学校の部活動に在籍していない理由



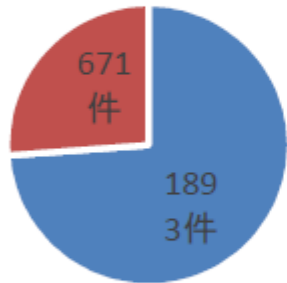
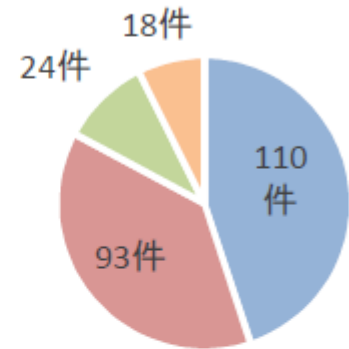
学校以外で活動している	79件
やりたい部活がない	19件
その他	21件

「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

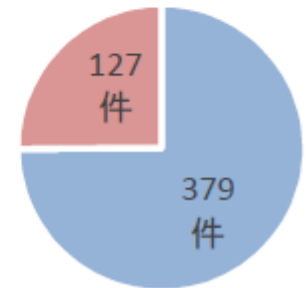
【福井市PTA部活動アンケート結果】

質問③ 活動日数・時間について

満足している	1893件
コメント件数:326件/1893件	
抜粋	
・休みがしっかりある。 (週休2日、平日に休み、土日どちらかが休み等)	110件
・丁度いい。	93件
・勉強等と両立ができる。	24件
・楽しい、楽しんでいる。	18件



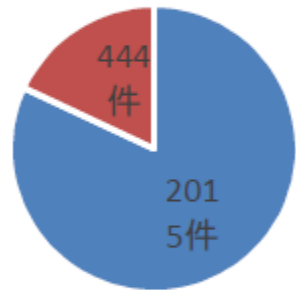
満足していない	671件
コメント件数:530件/671件	
抜粋	
・活動時間が少なすぎる。	379件
・活動時間が多すぎる。	127件



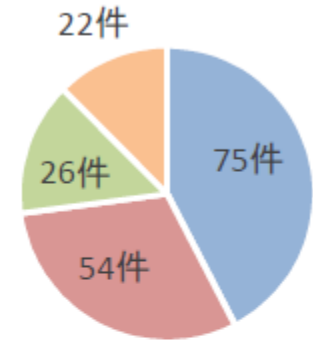
「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

【福井市PTA部活動アンケート結果】

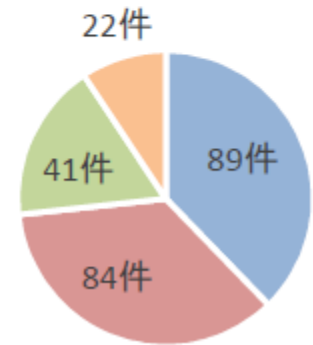
質問④ 活動内容について



満足している	2015件
コメント件数: 284件 / 2015件	
抜粋	
・楽しんでいる。	75件
・顧問の先生やコーチが熱心、丁寧に指導してくれる。	54件
・やりがいがある。目標をもって取り組んでいる。	26件
・活動内容が合っている。	22件



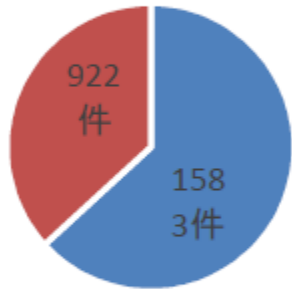
満足していない	444件
コメント件数: 284件 / 444件	
抜粋	
・練習内容(物足りない、合わない等)	89件
・指導者の指導、経験。	84件
・活動時間が少ない。	41件
・活動場所が狭い。	22件



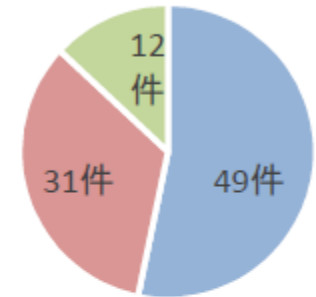
「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

【福井市PTA部活動アンケート結果】

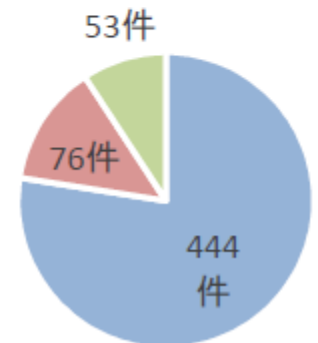
質問⑤ 大会・コンクール等について



満足している	1583件
コメント件数: 168件 / 1583件	
抜粋	
・コロナ禍でも開催された。十分。	49件
・目標を持って取り組めた。頑張れた。	31件
・楽しかった。	12件



満足していない	922件
コメント件数: 584件 / 922件	
抜粋	
・コロナ禍で回数が減った。中止になった。	444件
・まだ参加できていない。	76件
・無観客で観戦できなかった。	53件

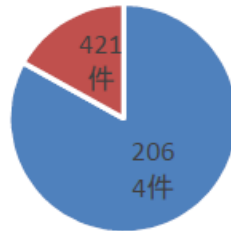
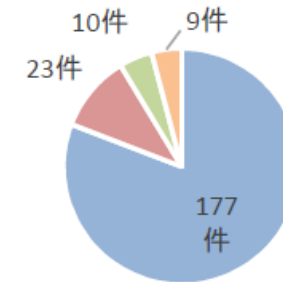


「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

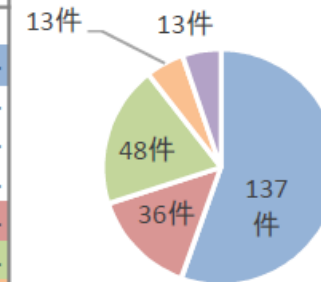
【福井市PTA部活動アンケート結果】

質問⑥ 保護者の関わり方

満足している	2064件
コメント件数: 278件 / 2064件	
抜粋	
・保護者があまり関わらなくてもいい。負担が少ない。	177件
(内訳) 送迎の負担	57件
保護者同士の関わり、保護者会等の負担	26件
部費の負担	15件
・丁度いい。	23件
・できるだけ協力したい。	10件
・先生、保護者間で連絡・連携がとれている。	9件



満足していない	421件
コメント件数: 255件 / 421件	
抜粋	
・保護者の負担が大きい。	137件
(内訳) 送迎の負担	91件
部費が高い。使途が説明不足	33件
保護者同士の関わり、保護者会の負担	8件
・コロナ禍で見学できない。	36件
・先生、保護者間で連絡・連携が不十分。	48件
・もっと関わりたい、協力したい。	13件
・どのような活動をしているのか、わからない。	13件



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

2. 部活動のこれから ～休日の部活の地域移行～

【**学校の働き方改革**を踏まえた部活動改革】 文部科学省 令和2年9月

《改革の方向性》

- ・ 休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築
(部活動の指導を希望する教師は、引き続き指導を行うことができる仕組みを構築)
- ・ 平日における学校部活動との連携を図りながら、休日における地域のスポーツ文化活動を実施できる環境を整備

《具体的な方策》

- ・ 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）
- ・ 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- ・ 合理的で効率的な部活動の推進



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

2. 部活動のこれから ～休日の部活の地域移行～

【運動部活動の地域移行に関する検討会議】 スポーツ庁 令和3年10月

- (1) 運動部活動改革の目的・目標
- (2) 地域移行する前の運動部活動の在り方
- (3) 地域への移行の在り方
- (4) 運動部活動の地域での受け皿
- (5) 指導者
- (6) 施設
- (7) 大会
- (8) 会費
- (9) 保険
- (10) 関連諸制度等の見直し



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

2. 部活動のこれから ～休日の部活の地域移行～

令和4年7月 目途 提言の提出

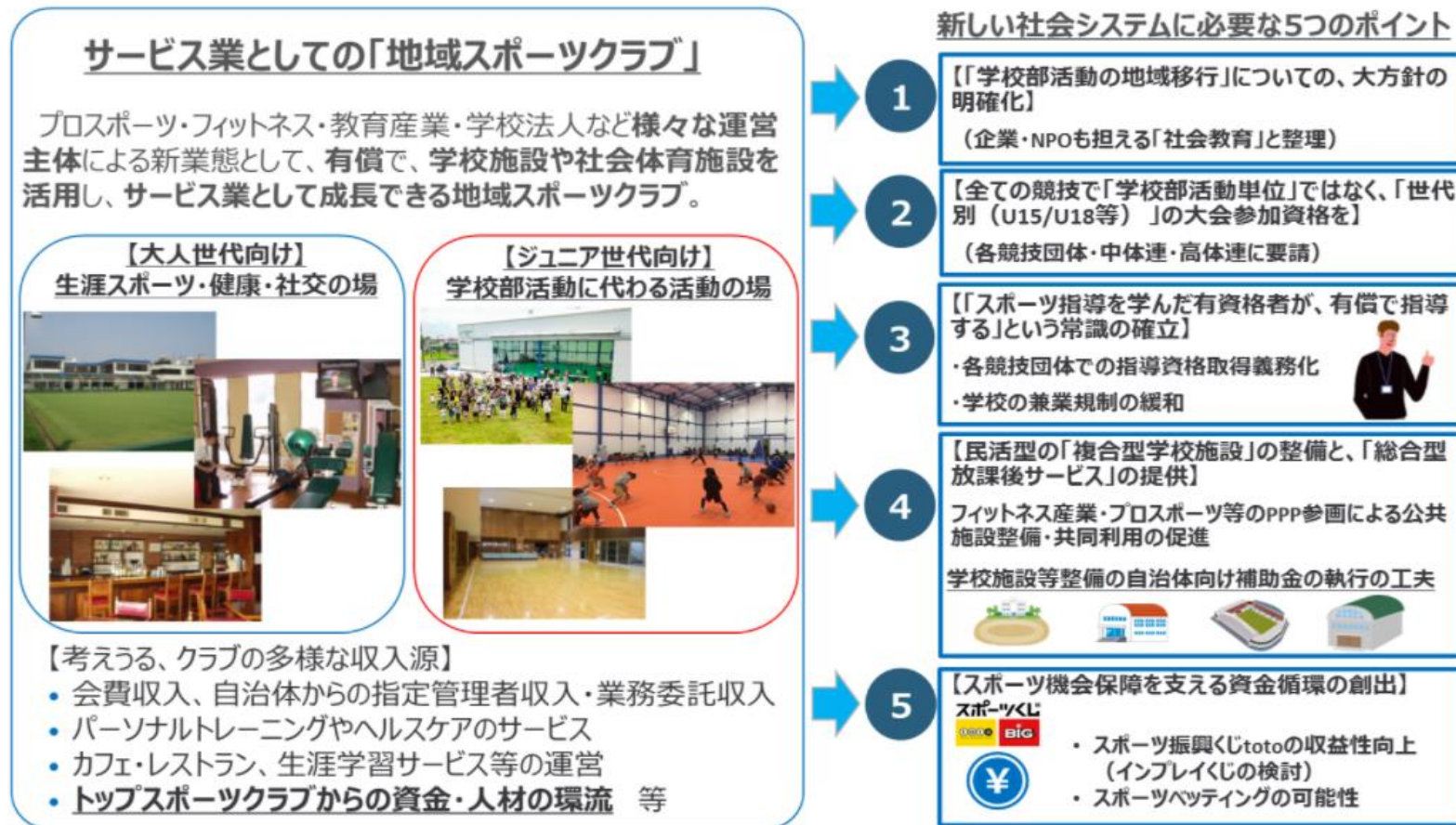
※ これまでに議論が終了しない場合は、「第1次提言」として取りまとめ
その後、検討会議で残りの検討項目を検討、令和4年度中に最終提言を提出



「学校部活から地域クラブへ？」 - 部活動を考える -

「地域×スポーツクラブ産業研究会 第1次提言」（経済産業省 令和3年6月）

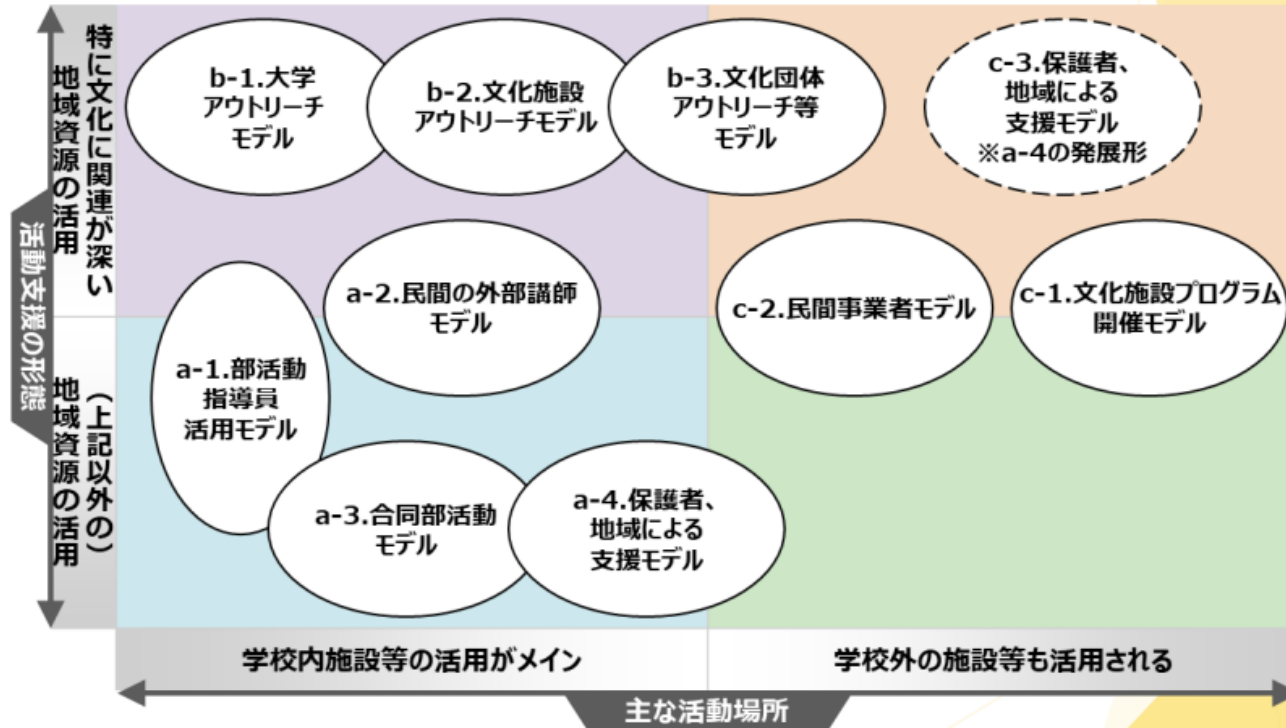
地域スポーツクラブを軸にした新しい社会システム像に向けた提言



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

「地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議」(文化庁 令和元年1月)

「主な活動場所」×「活用している資源の種類」



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

3. 福井県の状況

【地域移行のモデル校】 本年度より

鯖江市 鯖江中：剣道と柔道
 中央中：サッカーとバドミントン
 東陽中：男子バスケットボール

※ 鯖江、鯖江北、東陽の総合型地域スポーツクラブが、土日の指導を担当

美浜町 美浜中：ボート

※ 県ボート協会が地元設立しているジュニアクラブが受け皿

敦賀市 角鹿中、気比中、松陵中、栗野中：吹奏楽

※ 市民吹奏楽団のメンバーが指導

「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

4. 「福井市PTA特別委員＋運営委員 意見交換会」での意見

- (1) 指導者について
 - ・ 指導方針の問題
 - ・ 報酬の有無
 - ・ 指導者の確保

- (2) 大会、試合について
 - ・ 地域クラブとしての参加
 - ・ 部活レベルの違い

- (3) 費用等の負担について
 - ・ 経済的な理由での不参加

- (4) 部活動の意義について
 - ・ 地域クラブと部活動の温度差
 - ・ 一緒に競技に打ち込むこと、居場所の確保



「学校部活から地域クラブへ？」-部活動を考える-

5. まとめ

～子どもたちにとって大事な部活動が、これからも続いていくために～

まだ具体的にどうなっていくのかは手探りの状態です

各単位PTAからも情報発信をしていただき、保護者の皆さんにまずは知っていただきたいと今回の発表を行いました

今後も中学校体育連盟や、教育委員会といった関係先とコミュニケーション、連携をとり、情報提供など取り組んでまいります

